

2. 指標設定

成果指標	指標名	母子・父子家庭の自立		目標年度	指標の設定理由				
	数値	—			国の制度に基づく事業であり、母子、父子家庭の自立支援を目的としているため				
活動指標	指標	a	お知らせ	b	申請件数	c	通知書発送件数	d	給付
	数値	目標	—	目標	—	目標	—	目標	100%

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
母子・父子家庭の自立		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a	お知らせ	—	—	—
b	申請件数	3,901 件	4,199 件	4,386 件
c	通知書発送件数	3,901 件	4,199 件	4,386 件
d	給付	1.5 億円	1.6 億円	1.6 億円

4. 課題と対応

課題
実態把握
対応（改善点等）
支給の適正化

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

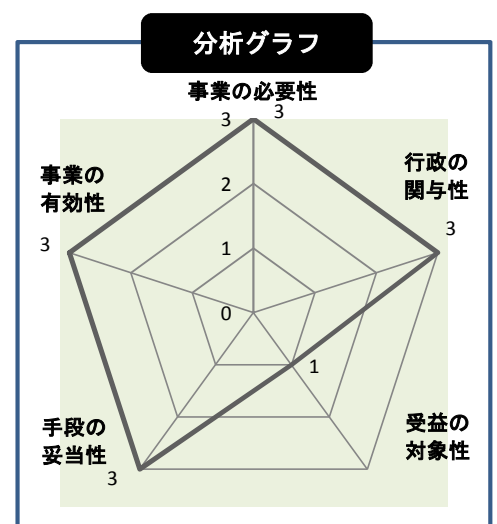
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		147,536	159,258	164,104	165,757
財源内訳	国費	49,231	52,635	54,679	55,252
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	98,305	106,623	109,425	110,505
うち経常		98,305	106,623	109,358	110,505
事業費に係る人件費		1,280	1,314	1,290	1,288

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
国の制度であることから前年並みを維持する

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 国の制度のため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により定められているため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 18歳未満の児童を監護している母子又は父子に限られているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 数値目標は設定していないが、事業の有効性は高いと判断できているため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	的確な実態把握を行い、適切、効率的な事業を実施すること